【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2006-31538(P2006-31538A)
【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2004-211692(P2004-211692)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　C

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月19日(2006.7.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
キャンセル操作を行う為の操作手段、及び記憶手段を備え、プリンタと通信可能な情報処理装置であって、
印刷データを分割してパケット化し、各パケットにジョブ識別子を付加して前記記憶手段に出力するパケットデータ出力手段と、
前記記憶手段から読み出されるパケットデータのプリンタへの出力処理を行う印刷データ管理手段とを有し、
前記印刷データ管理手段は、前記操作手段によるキャンセル操作に応じて、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのジョブ識別子を識別し、該識別されたジョブ識別子がキャンセル対象の識別子であればパケットデータを無効化することを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
アプリケーションからのデータが投入されるスプーラを監視するジョブ管理手段と、
前記キャンセル操作に応じて、前記ジョブ管理手段にキャンセル要求を発行する手段とを有することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記ジョブ管理手段はスプーラから取得されたデータを変換部に変換させ、前記パケットデータ出力手段は前記変換されたデータをパケット化し、さらに、前記キャンセル操作に応じたシグナルによりパケット化の処理を終了することを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記印刷データ管理手段は、処理中のジョブ識別子と異なるジョブ識別子のパケットデータを前記記憶手段から読出し取得した場合、前記処理中としていたジョブ識別子をキャンセル対象のジョブ識別子とすることを特徴とする請求項１乃至３の何れかに記載の情報処理装置。
【請求項５】
キャンセル操作されたジョブ識別子を保持部に保持させる保持制御手段を有し、前記印刷データ管理手段は、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのジョブ識別子がキャンセル操作されたジョブ識別子に対応する場合に前記読み出されたパケットデータを無

効化することを特徴とする請求項１乃至４の何れかに記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記パケットデータ出力手段は、マルチプロセス環境下において、印刷ジョブ毎に別々のプロセスとして動作する第１パケットデータ出力手段及び第２パケットデータ出力手段を含み、前記記憶手段に前記第１及び第２バケットデータ出力手段の各々から出力されるパケットデータが記憶され、前記印刷データ管理手段は、前記ジョブ識別子に基づき、前記第１及び第２の何れのパケットデータ出力手段より出力されたパケットデータを無効化することを特徴とする請求項１乃至５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
キャンセル操作を行う為の操作手段、及び記憶手段を備え、プリンタと通信可能な情報処理装置における制御方法であって、
印刷データを分割してパケット化し、各パケットにジョブ識別子を付加して前記記憶手段に出力するパケットデータ出力ステップと、
前記記憶手段から読み出されるパケットデータのプリンタへの出力処理を行う印刷データ管理ステップとを有し、
前記印刷データ管理ステップは、前記操作手段によるキャンセル操作に応じて、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのジョブ識別子を識別し、該識別されたジョブ識別子がキャンセル対象の識別子であればパケットデータを無効化することを特徴とする制御方法。
【請求項８】
前記キャンセル操作に応じて、アプリケーションからのデータが投入されるスプーラを監視するジョブ管理手段にキャンセル要求を発行するステップを有することを特徴とする請求項７に記載の制御方法。
【請求項９】
前記ジョブ管理手段はスプーラから取得されたデータを変換部に変換させ、前記パケットデータ出力ステップは前記変換されたデータをパケット化し、さらに、前記キャンセル操作に応じたシグナルによりパケット化の処理を終了することを特徴とする請求項８記載の制御方法。
【請求項１０】
前記印刷データ管理ステップは、処理中のジョブ識別子と異なるジョブ識別子のパケットデータを前記記憶手段から読出し取得した場合、前記処理中としていたジョブ識別子をキャンセル対象のジョブ識別子とすることを特徴とする請求項７乃至９の何れかに記載の制御方法。
【請求項１１】
キャンセル操作されたジョブ識別子を保持部に保持させる保持制御ステップを有し、前記印刷データ管理ステップは、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのジョブ識別子がキャンセル操作されたジョブ識別子に対応する場合に前記読み出されたパケットデータを無効化することを特徴とする請求項７乃至１０の何れかに記載の制御方法。
【請求項１２】
前記パケットデータ出力ステップは、マルチプロセス環境下において、印刷ジョブ毎に別々のプロセスとして動作する第１パケットデータ出力手段及び第２パケットデータ出力手段によるパケット出力を行い、前記記憶手段に前記第１及び第２バケットデータ出力手段の各々から出力されるパケットデータが記憶され、前記印刷データ管理ステップは、前記ジョブ識別子に基づき、前記第１及び第２の何れのパケットデータ出力手段より出力されたパケットデータを無効化することを特徴とする請求項７乃至１１に記載の制御方法。
【請求項１３】
請求項７乃至１２の何れかに記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。
【請求項１４】
請求項７乃至１２の何れかに記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログ

ラムをコンピュータ可読の形態で記憶した記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】情報処理装置、制御方法、プログラム及び記憶媒体
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するために、キャンセル操作を行う為の操作手段、及び記憶手段を備え、プリンタと通信可能で、印刷データを分割してパケット化し、各パケットにジョブ識別子を付加して前記記憶手段に出力するパケットデータ出力手段と、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのプリンタへの出力処理を行う印刷データ管理手段とを有し、前記印刷データ管理手段が、前記操作手段によるキャンセル操作に応じて、前記記憶手段から読み出されるパケットデータのジョブ識別子を識別し、該識別されたジョブ識別子がキャンセル対象の識別子であればパケットデータを無効化する仕組みを提供する。